

名古屋市営交通事業経営計画(2015-2018)(案)の概要

資料1参考

1 計画の理念

「SAFETY & CHALLENGE」

私たち名古屋市交通局は、市バス・地下鉄の安全・安心(SAFETY)な運行を最大の使命としつつ、時代の変化を先取りし、常に課題に対して積極的にチャレンジ(CHALLENGE)することで、より質の高いサービスを提供し、市民・利用者の皆さまの豊かな暮らしの実現と名古屋のまちづくりに貢献することをお約束します。

2 計画期間

平成27(2015)年度から平成30(2018)年度までの4年間

3 計画目標

市バス

- ・平成30年度に1日あたり34万人の乗車人員をめざします。
- ・経常収支の黒字を確保します。
- ・資金不足を解消します。
- ・計画期間中に50億円投資します。

地下鉄

- ・平成30年度に1日あたり127万人の乗車人員をめざします。
- ・実質経常収支の黒字を確保します。
- ・実質資金不足額を平成26年度比で約10%(263億円)削減します。
- ・計画期間中に542億円投資します。

4 市バス・地下鉄の重点課題

- ①安全への取り組みの強化
- ②南海トラフ巨大地震への対応
- ③施設・設備の老朽化対策
- ④人口減少社会における人口構造の変化への対応
- ⑤職員のモチベーション向上
- ⑥リニア中央新幹線の開業に向けたまちづくりとの連携
- ⑦経営基盤の強化

※②④⑥は名古屋市総合計画2018の重点課題と共通

5 取り組む施策

- | | |
|-------------|--|
| SAFETY ① | 安全運行を確保することにより、お客さまの安全・安心を守ります。 |
| SAFETY ② | 南海トラフ巨大地震をはじめとする災害に備え、お客さまの安全・安心を守ります。 |
| SAFETY ③ | 施設等の老朽化対策により、お客さまの安全・安心を守ります。 |
| CHALLENGE ① | 誰もが利用しやすい快適な市バス・地下鉄の環境づくりに挑戦します。 |
| CHALLENGE ② | 職員力を高め、お客さまへのより質の高いサービスの提供に挑戦します。 |
| CHALLENGE ③ | 名古屋のまちづくりに貢献するため、市バス・地下鉄の魅力向上に挑戦します。 |
| CHALLENGE ④ | さらなる経営基盤の強化に挑戦します。 |

安全・安心

魅力創造

経営基盤

6 施策を推進する事業(主要事業)

取り組む施策

SAFETY ①

安全運行を確保することにより、
お客さまの安全・安心を守ります。

SAFETY ②

南海トラフ巨大地震をはじめとする災害に備え、
お客さまの安全・安心を守ります。

SAFETY ③

施設等の老朽化対策により、
お客さまの安全・安心を守ります。

CHALLENGE ①

誰もが利用しやすい
快適な市バス・地下鉄の環境づくりに挑戦します。

CHALLENGE ②

職員力を高め、お客さまへの
より質の高いサービスの提供に挑戦します。

CHALLENGE ③

名古屋のまちづくりに貢献するため、
市バス・地下鉄の魅力向上に挑戦します。

CHALLENGE ④

さらなる経営基盤の強化に挑戦します。

主要事業

- ・地下鉄運転シミュレータの導入等による非常時の安全を確保するための対応力向上
- ・バス運転士携行用マニュアルの作成・活用
- ・安全学習室の設置による職員の安全意識向上
- ・バス運行支援システムの導入・活用
- ・可動式ホーム柵の整備
- ・啓発事業の充実による安全・安心なご利用環境づくりの推進

- ・市バス営業所への発電機等の配備
- ・南海トラフ巨大地震に対する地下鉄施設の津波対策
- ・地下鉄車両への手すり付き非常脱出はしごの設置
- ・駅軌道内壁タイルおよび天井添架物の点検強化・改修
- ・地下鉄構造物の耐震補強
- ・災害時の対応方策の訓練・検証

- ・バス車両の更新(ノンステップバスの導入)
- ・バス停留所施設の整備・改修
- ・地下鉄車両の更新
- ・地下鉄電気設備の更新
- ・地下鉄車両の主要電気機器更新
- ・地下鉄駅のリニューアル

- ・高齢者や障害者にも快適な環境づくり
- ・外国人観光客にもご利用いただきやすい環境づくり
- ・わかりやすい案内サインの整備
- ・現場職員を交えたチームや女性職員のワーキンググループによる利用促進策の検討
- ・子どもや女性にも安心してご利用いただける環境づくり
- ・交通局ウェブサイトのリニューアル

- ・接客サービス向上のための取り組みの実施
- ・人財育成プログラムの活用
- ・業務改善活動の推進
- ・自主研究グループの活用
- ・認知症サポーターの養成
- ・能力の発揮を支える取り組みと成果に報いる制度の充実

- ・バス停周辺の観光施設等の案内表示
- ・学生力を活かした地域巡回バスの新たな魅力づくり
- ・燃料電池バスの導入の検討
- ・学生力を活かした市バス・地下鉄魅力創造プロジェクトの推進
- ・駅構内での演奏等の実施
- ・地域・他事業者等との連携

- ・新規広告の展開
- ・駅ナカビジネスの検討および準備
- ・市バスの民間への管理委託の拡大
- ・地下鉄駅務業務の民間への委託の拡大
- ・地下鉄のワンマン運転化の拡大
- ・市バス事業の経営基盤強化